

えんだより

元気いっぱい子ども達と保護者の方々、運動会お疲れ様でした。スポーツの秋を体感して頂けましたか？

最近の親は子どもを「おんぶ」することがあまりないとの情報ですが、本園の運動会で初めて「おんぶ」した方もいらっしゃいますか？

乳幼児期を育てる ⑦

「口ぐせ」

以下の中で子どもに向けて口にする言葉はありますか？ チェックしてみましょう。

- ① □何しているの！！
- ② □いい加減にしないで！！
- ③ □いつまで～しているの！！
- ④ □なぜやらないの！！
- ⑤ □それでいいと思っているの！



ふと思いついて、子どもとの会話のやり取りを紙に書きだしたとき、いつも口にする言葉は「指示」「確認」「責める」「質問」等、強い口調ではありませんか。

このような言葉をいつも聞いている子どもは『耳だこ』で会話のやり取りにウンザリとされていることでしょう。結果「今日保育園で(学校で) どうだった？」と聞かれても、即「わからない！」との返事になります。日常のやり取りが面倒という癖がついて会話をしたくなくなります。

このように日常のやり取りを見直してみると、親子とも癖になってしまっている言い方ありませんか？

「なにしているの！！」のように子どもは言われても返事のしようがないような言葉は口にしないように意識しましょう。

★保健室より

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が流行時期に入りました。感染力が強いため、厳重に注意しないとイケません。感染予防に手洗いは大切です。つめが伸びていると、つめの間にウイルスが入るため、手洗いの効果がない場合があります。つめは短くしましょう。感染者がいる時は、家族で別々のタオルを用意し、固形せっけんでは不潔になりやすいので、1回ずつ個別に使える液体せっけんを使いましょう。ノロウイルスは、症状が治まっても10日程度、ウイルスが排出されていることがあります。オムツの取り扱いには注意しましょう。

吐物は、想像以上に遠くまで飛び散っています。広い範囲を消毒し、消毒作業をする時は十分に換気を行いましょう。ノロウイルスは通常の洗剤では殺菌できないため、感染した人の衣類等は、塩素系漂白剤で消毒してから洗濯しましょう。ノロウイルスに感染すると、あっという間に感染が広がります。予防を徹底しましょう。

先月、歯科健診がありました。結果をお知らせします。(74人/89人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
齲歯数	0人	0人	2人	3人	3人	1人



乳歯の虫歯を放っておくと、生えていない永久歯が、乳歯の虫歯の下で虫歯になってしまう可能性もあります。また、永久歯が適切に生えてくることができず、歯並びに悪影響を及ぼすこともあります。歯並びが悪くなると、噛み合わせにも支障をきたします。乳歯の虫歯は早めの対処が必要です。

★給食室より

「噛むことの大切さ」

食べ物をしっかり噛んでいますか？ 最近は柔らかいものを好み、きちんと噛めない人が増えています。噛む大切さを7つのポイントに分けて紹介します。

1. **肥満防止**・・・脳へ信号が送られ、食べすぎを防止します。
2. **味覚の発達**・・・味を感じる幅が広がります。食べ物の中の様々な「味」をたくさん経験することで多くの味に興味を示すようになります。また、味がわかると食べるのがもっと楽しくなります。
3. **表情が豊かに**・・・舌や顎の動きがよくなり、口回りの筋力バランスがつくことで、表情が豊かになります。
4. **脳の発達**・・・脳に刺激がいきわたり、脳が活性化し、集中力や判断力アップに繋がります。
5. **歯の病気予防**・・・唾液がたくさん出て、口の中を清潔に保つ働きがあるので、虫歯の予防にもなります。
6. **がん予防**・・・唾液が促進され、しっかり噛んで粉々になった食べ物と唾液を混ぜると、食品中の発がん性が抑制されます。
7. **胃腸の働きを促進**・・・唾液は消化酵素を含み、消化に役立ちます。口腔内できちんと消化ができていれば、そのあとの胃腸への負担減るので、胃腸の機能が未熟な子供は特にしっかりと「噛む」癖をつけてあげましょう。

子どもだけでなく、大人も「噛むこと」を意識して 食事をしましょう。

